

# 令和3年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

## 1 施設の概要等

施設名	広島県立県民の森		
所在地	庄原市西城町油木 156-14		
設置目的	すぐれた自然環境にある森林を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び教化に資する。		
施設・設備	公園センター（センター棟、宿泊棟）、全天候多目的施設（体育館）、キャンプ場、スキー場施設等		
指定管理者	5期目	R3. 4. 1～R8. 3. 31	(株)アグリヒバゴン
	4期目	H28. 4. 1～R3. 3. 31	(株)比婆の森 〔R2. 7. 31 指定管理者の自己破産申立に伴い、 指定管理者の指定を取消 R2. 8. 1～R3. 3. 31 施設利用を休止〕
	3期目	H23. 4. 1～H28. 3. 31	(株)比婆の森
	2期目	H20. 4. 1～H23. 3. 31	(株)比婆の森
	1期目	H17. 4. 1～H20. 3. 31	(株)比婆の森

## 2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5期	R3	110,000人	115,074人	20,614人	5,074人 (104.6%)
4期平均	H28～R2	110,000人	94,460人	△24,212人	△15,540人 (85.9%)	
3期平均	H23～H27	105,000人	118,672人	15,793人	13,672人 (113.0%)	
2期平均	H20～H22	101,000人	102,879人	9,267人	1,879人 (101.9%)	
1期平均	H17～H19	—	93,612人	△7,525人	—	
	H16 (導入前)	—	101,137人	—	—	
増減理由	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設を休業したことなどから、宿泊など有料施設の利用者数は令和元年度と比べて減少したものの、登山など日帰り利用者の増加により、目標は達成した。					

## 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施	宿泊施設及びレストラン利用者 160人
	【主な意見】	【その対応状況】
	浴場の温度が一定していない。	温度センサーを取り換えて、温度を一定管理できるようにした。
	一部のスタッフに接客態度の指導が必要。	接遇研修を行い社員の資質向上に取り組んだ。

## 4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務実績報告書
	日報	—	
管理運営会議等（随時）	【特記事項等】 各施設・設備の老朽化対策		
現地調査（3月）	【指定管理者の意見】 利用者増に向け、利便性の向上や安全で快適に利用できるよう施設の適切な修繕を行う必要がある。		
	【県の対応】 指定管理者と協議しながら計画的に修繕を実施する。		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	5期	R3	39,635	32,561		5期	R3	31,745	△13,458
県委託料 (決算額)	4期平均 H28～R2		7,074	△802	料金 収入 (決算額)	4期平均 H28～R2		45,203	△31,190
	3期平均 H23～H27		7,876	89		3期平均 H23～H27		76,393	2,715
	2期平均 H20～H22		7,787	2,451		2期平均 H20～H22		73,678	12,305
	1期平均 H17～H19		5,336	△4,061		1期平均 H17～H19		61,373	△8,328
	H16 (導入前)		9,397	—		H16 (導入前)		69,701	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R3 決算額	R2 決算額 (※3)	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	39,635	11,286	—	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う委託料の増
		料金収入(※1)	31,745	4,162	—	
		その他収入	66,571	1,951	—	
		計(A)	137,951	17,399	—	
	支出	人件費	57,203	9,693	—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                     &lt;令和2年度&gt;                      令和2年7月31日に、指定管理者の自己破産申立に伴い、指定管理者の指定を取り消し、令和2年8月1日から令和3年3月31日まで施設利用を休止した。                 </div>
		光熱水費	16,519	1,755	—	
		設備等保守点検費	7,783	719	—	
		清掃・警備費等	3,842	42	—	
		施設維持修繕費	13,307	404	—	
		事務局費	8,461	411	—	
		その他	29,445	2,612	—	
	計(B)	136,560	15,636	—		
		収支①(A-B)	1,391	—	—	
	自主事業(※2)	収入(C)	—	—	—	
支出(D)		—	—	—		
収支②(C-D)		—	—	—		
合計収支(①+②)		1,391	—	—		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

※3 R2 決算額：「県委託料」及び「料金収入」は7月末までの数値。

「その他収入」及び「支出」は5月末までの数値。

## 7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえで、地域資源を活かしつつ、豊かな自然環境を活用したキャンプ、宿泊、スキー事業等を実施した。	新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、施設の設置目的に合致するよう適切な業務運営に努めている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	地元比婆牛を活用したレストランメニューの開発、室内BBQ設備の充実、利用者ニーズを踏まえたドッグランの整備などを行い、サービス向上及び利用促進に努めた。	県民サービスの向上、施設の利用促進のための新たなアイデアを企画し、利用者の確保に努めている。
	○業務の実施による、施設の利用促進	施設・設備の点検を随時実施し、老朽化に伴い修繕が必要な箇所を県と連携して対応した。	安全面や施設運営に支障が生じないよう適切に対応しており、利用者の安全性と快適性の向上に努めている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	予約管理システムの導入やレストランメニューの見直しにより、業務の効率化を図ることで、サービス提供に必要な人員配置を確保しつつ、人件費や食品ロスなどの経費削減に繋げた。	業務の見直しを行い、適正かつ効率的な業務運営に努めている。
	○効率的な業務運営	節減策を検討し、光熱費の節減や業務の効率化を図り、経費の抑制に努めた結果、黒字を確保した。	効率的なサービス見直しを行った結果、収支を黒字化したことは評価できる。
	○収支の適正		
総括		新型コロナウイルス感染拡大に伴う休業等により収入が伸び悩む中、経費を抑制することにより収支は黒字となり、目標の利用者数を達成した。	適切な感染防止対策と施設の利用提供を行いながら、経費抑制に努めたことは評価できる。 引き続き、施設の利用促進に向けて、より効果的なサービスの提供を行う必要がある。

## 8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和4年度)	引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、利用者ニーズを踏まえた利用促進につながる企画や取組の見直しを行い、施設利用者の増加に努める。	引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策の実施を支援するとともに、施設の利用促進に向けて、より効果のある企画・取組が実施できるよう支援する。
中期的な対応	老朽化した施設の維持・修繕について、県と協力しながら適切に実施するとともに、利用者増となる効果的な取組を行う。	老朽化した施設の状況や利用者ニーズを踏まえ、指定管理者と協議を行い、優先度の高い箇所から計画的に対応を行うとともに、利用促進策について必要な支援を行う。